## 未来のアスリート発掘事業

# 活動報告 9期生 vol.3



第3回育成プログラム開催 開催日時 2月22日(土) 15:00~18:00 内 容 【知的能力育成プログラム】



「ジュニアアスリートの食事①」 西能みなみ病院 管理栄養士 日本体育協会公認スポーツ栄養士 舘川美貴子 先生



【身体能力育成プログラム】
「コンディショニング②」
富山県総合体育センター
指導課課長補佐 山地 延佳 先生

参加9期生 46名

## 活動1 ジュニアアスリートの食事①

今回の知的能力育成プログラムは、公認スポーツ栄養士の舘川先生に「ジュニアアスリートの食事」と題して、5年生の今の時期にどのような栄養をとっていけばよいのか、どのような生活習慣、食習慣を身につけていけばよいのか、わかりやすく話していただきました。



## <sub>ポイント1</sub> 食べることもトレーニング

食についての正しい知識を身につけ、目標、目的に合った食事を 実践・継続していくことが大切である。

「トレーニング→食事→睡眠」 のサイクルを習慣づけていく ことが大事である。



# **パランスのよい食事をする**(まごにわやさしい)



バランスのよい食事をするためには、食材を 覚えることも大切。

その簡単な覚え方が、**「まごにわやさしい」** 一食では難しくても、一日の中でこれらの食材を 摂取することが大切である。

「ま」・・・(まめ)=豆類

「ご」・・・(ごま)=種実類

「に」・・・(にく)=肉類

「わ」・・・(わかめ)=海藻類

「や」・・・(やさい)=緑黄色野菜、淡色野菜、根菜

「さ」・・・(さかな)=魚介類

「し」・・・(しいたけ) =きのこ類

「い」・・・(いも) =いも類









この言葉はとても覚えやすく、アスリート児童たちは、しっかり ノートに記録していました。食生活にしてもトレーニングにしても、 ジュニア期から自己管理できる能力を身につけてほしいとアドバ イスをいただきました。

## 活動2 コンディショニング②

コンディショニングの2回目を行いました。まず、会議室で山地先生から「ゴールデンエイジの時期の運動」についてお話をいただきました。

#### 【ゴールデンエイジ(9歳~12歳ごろ)の特徴】

・動きの習得には最高の時期 <この時期に覚えた動きは一生忘れない>



- スポーツにつなかる遊びやゲームを数多く体験する
- 様々なスポーツ種目を体験させる









腕 歩 き(前)



腕 歩 き(横)



仰向け歩き



ワニ歩き

#### アスリートの感想

- 私は今まで栄養=トレーニングとは考えたことがなかったです。今日はすごく勉強になりました。「食事」についてもう一度考え直そうと思いました。何でも食べればいいのではなくて、バランスよく力になる「食事」をしたいと思いました。 (女子児童)
- 〇 私は、好き嫌いをしてしまうことがあります。でも、舘川先生のお話を聞くと、サッカーの澤選手や水泳の北島選手は、好き嫌いせずに食べておられると聞きました。私はこれから「3食しっかり食べること」「体に必要な食品を食べること」を守り、何でも食べられる丈夫な胃袋をつくりたいです。睡眠もしっかりとって疲れをとりたいと思います。 (女子児童)
- 〇 学校で3大栄養素を習ったけど、今日習ったような詳しいものではありませんでした。今日習ったことを大会に向け役立てたいです。 (女子児童)
- O ぼくは、今、ゴールデンエイジの時期なので、動きの習得には最適とわかりました。この時期にいろいろなスポーツ種目をしたいです。アリーナではやったことのない運動をいろいろしたので、家でも毎日欠かさずやっていきたいです。 (男子児童)
- 今日のコンディショニングは、試合の前や練習にとても効果がありそうな内容でした。ワニ歩きはとても難しかったけれど、家でやっていきたいです。毎日10分間のコンディショニングを今まで続けているので、これからもやっていきたいなと思います (男子児童) /~

### 保護者の感想・・・

- アスリートに必要な筋肉をつくるためにはかなりの食事量をとらなくては ならないと知り、驚きました。バランスのよい食事がとれるよう毎日のメニューに気をつけたいと思います。
- 食べることもトレーニングだと講義でお聞きし、いかに食事が大事か分かりました。毎日の食事に「まごにわやさしい」をしっかり取り入れていきたいと思います。
- 食事については、何を食べさせれば良いのか、勉強していましたが、「何の ために食べるのか」などの大事な部分について抜けていたことに気づかされ ました。ありがとうございました。